

新聞販売業におけるその他の環境等を起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	13～14	2階の宅配を完了したので階段から下りるとき、上から3段目の所に氷の膜があり、知らずに下りたところ滑ってしまい、階段の角に左腕をぶつけ、ひどい痛みがあり、しばらく動けなくなった。腫れが酷く、左腕下側筋肉断絶と言われ、2週間様子を見ることとなった。	70～499	300
1	4～5	朝刊配達中、凍結した路面で足を滑らせ転倒し、左手を着いた際にその衝撃で左手首にひびが入った。	76～299	100
1	3～4	配達先のポストに朝刊を投函する際、当時日中は暖冬で路面が凍結している状況を把握しながらも、足が滑り転倒し、肩と頭を打つケガをした。そのあと散歩を終えて自宅に戻り、体調に異変を感じたので処方された薬を服用していたが、翌日には体を起こすことができず、足も動かなくなった。	68	—
1	5～6	徒歩で朝刊を配達中、外の階段を下りている際に、雪で凍結した階段で足を滑らせて転倒し、背中を強く打ち、背骨を骨折した。	27	—
1	5～6	朝刊を配送中、路面が凍結していて転倒し負傷した。	55	50～99
1	5～6	新聞配達中、配達先で新聞受けに新聞を入れ、車に戻ろうとした際、通路が下り坂で凍っていたため気をつけて歩いていたが、滑って転倒し負傷した。	61	30～49
		被災労働者は、新聞配達するため玄関前を歩いていたら凍結路であったため転倒し		50

1	5~6	右腓腹筋々膜を損傷する負傷をした。	49	~ 99
1	3~4	新聞配達途中、凍結していた段差に足を滑らせ転倒した。その際に右足首と右膝に擦過傷を負い、右足関節を骨折した。	68	
1	4~5	読者宅に新聞配達している際、路面が凍結しており、後方に転倒し、腰部を強打し負傷したもの。	74	—
1	4~5	新聞配達中、道路が凍結していた為誤って転倒し、前頭部側頭部に脳内出血があり、入院となった。	64	10 ~ 29
1	2~3	当社新聞配達先のお客様宅の敷地内に於いて、地面が凍結していたため転倒し、頭を強く打ち負傷した。暗かったこともあり地面が凍結していることがわからなかった。	49	—
1	4~5	配達先の駐車場地面が、昨日からの積雪で凍結がひどく、注意していたが転んでしまった。	72	10 ~ 29
1	5~6	配達先である家の玄関前にて、配達をしている時、地面（路面）が凍結していたので、滑って転んで両手をついた際に、特に左手を強打して、左手の手首及び左肩に強い痛みが発症した。	79	10 ~ 29
1	6~7	配達業務中、自動車から降りて配布先のポストへ投函した際、足を滑らせ転倒し、右肩を強打した。	57	1~ 9
2	5~6	朝刊配達中、玄関前が凍っていた為、滑って転倒し左手首を骨折した。（家で様子を見ていたが痛みが取れず翌日受診して骨折が分かった。）	63	—
2	17~18	チラシ配布作業終了後、会社に戻るため社用車に向かおうとしたところ、駐車場付近で、日没のため既に足元が見えづらかったのに加え、路面が凍結していたため、バランスを崩し、右足を内側にひねった状態で転倒した。病院で診察後、翌日になっても痛みがあったため検査したところ、骨折および靭帯断裂と診断された。	32	50 ~ 99
		新聞配達中、宅前にて滑って転倒した。顔面をぶつけて、顎の上部2~3箇所骨折		10

2	5~6	および腕の打撲で入院・手術となる。	65	~ 29
2	5~6	朝刊の配達中に凍った地面が滑ることに気付かずに滑って転倒し、その際左足を強打した。後日受診し、左足骨折と診断された。	61	50 ~ 99
2	4~5	会社駐車場へ、社用車を取りに向かう時、会社南側歩行者専用道路がアイスバーンになっており、滑って転倒した。左足の指をひねり親指を脱臼骨折した。	39	100 ~ 299
2	5~6	民家の軒先において、新聞の配達作業中、庭先を歩いて民家の軒先にある縁側（奥行40cm）の上に、いつものように新聞を置こうとしたところ、縁側の前のコンクリートの床が流れて来た雨水で凍結した状態であった。まだ暗い時間帯であり、足元が良く見えなかったため足を滑らせ転倒した。転倒した際、縁側の縁で左腕を強打し、受傷したものである。	74	50 ~ 99
2	5~6	新聞配達中、配達先の玄関前が凍結していた為、足を滑らせて、転倒してしまい、その際右足大腿骨を骨折したものである。	62	50 ~ 99
2	18~19	客先に集金に行き、玄関脇の犬小屋に繋がれていた飼い犬に右手と左ふくらはぎを噛みつかれ咬傷負傷した。	75	10 ~ 29
2	4~5	新聞配達中に、下り坂に差し掛かった際に路面が凍結していたため道路脇のガードレールにつかまって坂道を下ろうとしたところ、転倒して右の足首をひねりながら道路に右足首を打ちつけた。	68	10 ~ 29
3	16~17	新聞配達の仕事中に凍結路面で足を滑らせ転倒し、足の小指付近を骨折した。	62	30 ~ 49
3	5~6	新聞配達中、凍結路面に自転車のハンドルをとられ転倒し、左ヒザを強打した。	76	100 ~

				299
3	6~7	新聞配達中、敷地内で新聞を投函し車に戻ろうとした際、砕いてあった氷につまずき正面から転倒し、右膝を地面に打ちつけ負傷した。	68	100 ~ 299
3	2~3	早朝、新聞の配達中、路面がアイスバーン状態で雪が積もった状態で歩行中に足を滑らせ、右足首を骨折した。	49	30 ~ 49
3	4~5	新聞配達で歩いていたところ、寒かったため道路がブラックアイスバーン状態になっているのに気づかず進んだ際、滑って転倒し後頭部を地面に打ちつけた。	75	100 ~ 299
3	7~8	業務用チラシを戸別配布中、路上で路面凍結により滑って転倒し負傷した。	50	100 ~ 299
4	3~4	新聞配達のため配達先宅の敷地内ポストに新聞を入れ、帰ろうとしたところ突然、背後から同家の犬（つながれていた）に左足を咬まれた。	24	30 ~ 49
9	5~6	バイクで朝刊を配達中、畑の中の道を走行中、イノシシが飛び出して来て横腹にぶつかり、股関節付近を骨折した。	47	10 ~ 29
9	5~6	配達中ネコが飛び出し、急ブレーキを掛けてしまい転倒し、左ひざと左側股関節を痛めたものである。	51	30 ~ 49
9	5~6	新聞を配達後、坂道を下ろうとした時、道路上に生えていた苔が雨に濡れていたため、バイクの車輪が滑り、右側に転倒し負傷した。	49	50 ~ 99
9	4~5	外灯の無い暗い市道を原付バイクで新聞配達中、進行方向右側の山より突然大きな雄鹿が飛び出して来て避ける間もなく衝突、はずみで右側の山に突っ込む、幸い転	67	50 ~

		倒は免れたが、右足関節外果骨折する。		99
10	4~5	朝刊を原付バイクで配達中、路上に鹿が道路脇から飛び出し、突然のことで避けきれず激突し、バイクごと転倒した。その際に頭部を強打し頭蓋骨を折った。	60	30 ~ 49
11	4~5	新聞配達先において、朝刊配達中、車から降り左脇に新聞を抱えて歩いていたところ、配達先敷地内で路面凍結のため滑って転倒し、負傷した。	37	50 ~ 99
11	3~4	新聞配達先個人宅において、朝刊配達中、新聞を配達して戻る際、5段ある階段の上から2段目で凍結のため滑って転倒し下まで落下して負傷した。	54	50 ~ 99
11	15~ 16	新聞の配達を終え、次の配達先に向かう際、凍結した路面に足をとられ転倒し右腕を打撲した。夜になっても痛みが引かず腫れ上がってきたため翌日、病院を受診し、骨折と診断される。	69	30 ~ 49
11	4~5	徒歩で朝刊配達中、道路を歩いていたところ、凍結した路面で足を滑らせ、転倒し負傷した。右足を捻挫したが、最後まで配達を行った。	65	50 ~ 99
11	5~6	歩道を歩行中、足を滑らせ転倒し、右腕を負傷した。	57	30 ~ 49
11	17~ 18	夕刊配達中、転倒した。	68	10 ~ 29
11	5~6	新聞配達時、ポストに配達を終え歩いて門を出たところ、道路が濡れ雪の状態で滑って転倒した。右足が後ろに曲がった状態で道路に打ちつけ右足首を骨折した。	47	50 ~ 99
11	5~6	朝刊配達業務のため、バイクに乗車して路上を走行していたところ、濃霧によって前方の視界が悪く、道路脇の水路に誤ってバイクごと転落してしまい負傷したもの	37	10 ~

		である。		29
12	4~5	新聞（朝刊）配達を終了し、駐車していた自家用車に戻って乗り込もうとしたところ、凍結していた路面で足を滑らせて左足首を捻った。そのまま帰宅したが徐々に左足首全体が腫れてきたので病院を受診し、レントゲンを撮り、骨折していることが判明した。	44	100 ～ 299
12	15~16	新聞購読者宅に夕刊を配達中、路上を歩行中、除雪後のツルツル路面に足を滑らせて転倒し、負傷した。事故当初は大したことはないと思い診察を受けなかったが、症状悪化により、後日診察を受けた。	44	50 ～ 99
12	5~6	配達作業中、配達先のマンション玄関において足元が滑り転倒した際に、右手をついて負傷した。	76	30 ～ 49
12	5~6	朝刊の配達中、客宅の玄関前の路面が凍結していたため、足を滑らし転倒した。その際、左足を階段に強打し、受傷したものである。	68	30 ～ 49
12	4~5	朝刊配達中、凍結路面で滑り転倒し、転倒時に左手首を地面に強打した。そのまま配達を終わらせたが、腫れと痛みがあったため、受診した。	69	100 ～ 299
12	3~4	路上において、自転車を押して配達へ向かう途中、雪の盛り上がった所で滑って転倒し、その際に足首がペダルの下敷きになり負傷したものである。	76	30 ～ 49
12	5~6	敷地内において徒歩で新聞を配達する際、傾斜の所がアイスバーンになっており、滑って転倒し胸を打ち負傷したものである。	70	30 ～ 49
12	16~17	バイクで夕刊を配達しているときに、路上でUターンしようとした際、早朝からの雪で路面状況が悪く、タイヤが滑り右側に転倒してしまった。その後、右脇腹あたりに痛みが生じたため、受診した。	70	30 ～ 49
		バイクで夕刊配達途中、道路（砂利道・積雪・凍結）にて轍で前輪タイヤがスリッ		30

12	15~16	押しバイクが転倒し、身体は左前方路面に投げ出された。	63	~
				49
12	5~6	街中の配達を終え、次の配達場所へバイクで向かう途中、山に囲まれた坂道を走行中、突進してきてバイクに衝突したため、バイクごと転倒し、意識を失った。現場は暗く、バイクのライトのみで、バイクの存在には気づけない状態であった。	69	~
				29
12	5~6	朝刊宅配作業中、玄関入口前の道路凍結しており、滑って転倒した。その際、左足首を捻り負傷した。	63	~
				50
				99

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html